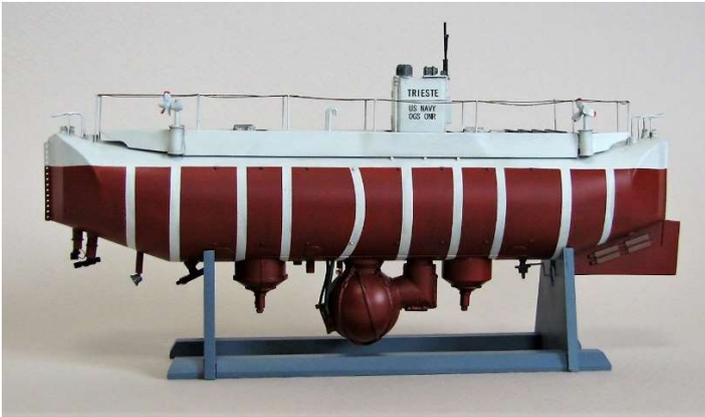


ワケ カタチには理由がある(7)

～トリエステ(Trieste)深海艇



この深海艇は、スイスのオーギュスト・ピカール(Auguste Piccard)によって設計され、1953年にイタリアのナポリで建造されました。この船体の特徴的構造は、空気ではなくガソリンを浮力として使用しているところでしょう。耐圧性能の関係から比重の軽い液体を選択したものと思われます。そのため、通常の潜水艦のように沈降・浮上を、空気を貯めるバラストタンクで行うことができないため、沈降の際に錘として使う鉄球を放出することで浮上する構造となっていました。模型写真を見ていただきたいのですが、居住空間となる中央の耐圧球の前後に配置されたシリンダ形状のものが、鉄球を入れたサイロです。この深海艇は、1958年にアメリカ海軍に買い上げられ、1960年にはジャック・ピカール(オーギュストの息子)と米国海軍中尉との2名で、マリアナ海溝において10,916mの潜水記録を打ち立てました。

【模型について】

日本のガレージキットメーカー、トーピードモデルズ(Torpedo models)製 1/100 のレジンキットです。このメーカーさんは、高品質の 1/350 の潜水艦のキットを数多く製作してくれたメーカーさんで、かつてワンフェス(ワンダーフェスティバル)で新作を買い求めるのが楽しみでした。このキットも、カチットしたとてもよくできたキットですが、手すり用ロープを付けたり、時代によって変遷する姿勢制御用のプロペラ位置等を多少いじっています。(中川裕幸 2021年1月)